

2008年度の「環境負荷削減」「経済価値の創出」の実績、 および環境経営のレベルを示す「環境経営指標」の推移について報告します。

環境負荷の削減状況

リコーグループでは、主要な先進国向けの事業による環境負荷（統合環境影響）*を2010年度に2000年度比20%削減するという目標を設定して活動しています。

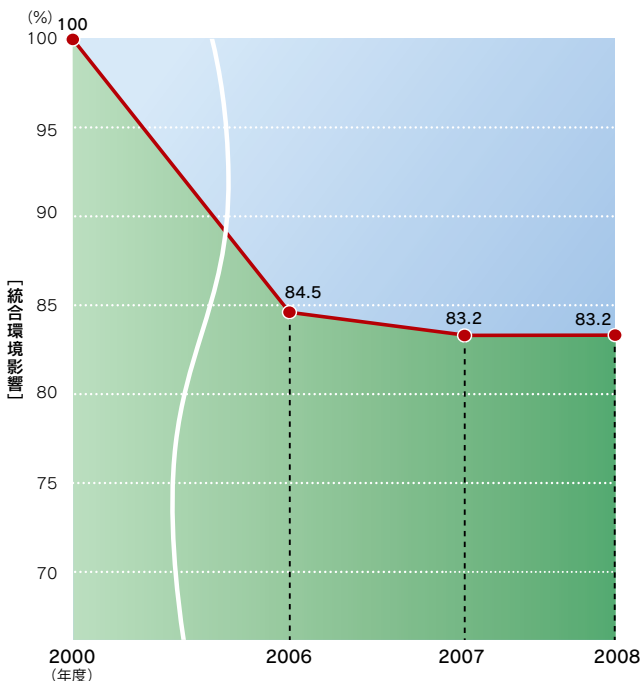
2008年度の統合環境影響は、前年と比較して横這いとなりました。減少要因としては、環境行動計画の進捗による環境影響削減効果に加え、世界的な不況の影響も大きく、調達、生産のステージでは環境影響が減少しました。一方で増加要因としては、お客様の使用ステージで画像機器製品の過去5年間の累積販売台数について評価を行い、市場での製品稼働台数の増加にともなって消費電力や紙の使用量が増加するという結果となりました。これに対して、2008年度からスタートした環境行動計画では、従来の資源循環量拡大の取り組みや環境技術開発の強化に加え、お客様先での省エネ機能、両面コピー機能の利用率の向上を重点課題として取り組みを進めております。 *:58ページ

2008年度の業績と今後の見込み

2008年度のリコーグループの連結売上高は2兆916億円と前期比5.8%の減少となりました。画像&ソリューション分野では、販売体制の強化やプリンター事業拡大などにより、プリンターの売上が増加しましたが、分野全体では景気の後退や円高などの影響を大きく受け、産業分野およびその他分野においても、売上が低調に推移したことにより、画像&ソリューション分野、産業分野、その他分野それぞれにおいて前期に比べ減収となりました。以上の結果、営業利益は前期に比べ58.9%減少し745億円となりました。今後の業績目標としては、2010年度に売上高2兆3,000億円、営業利益1,700億円を目指します。

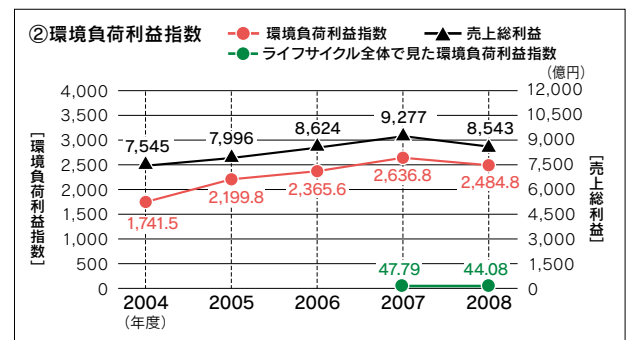
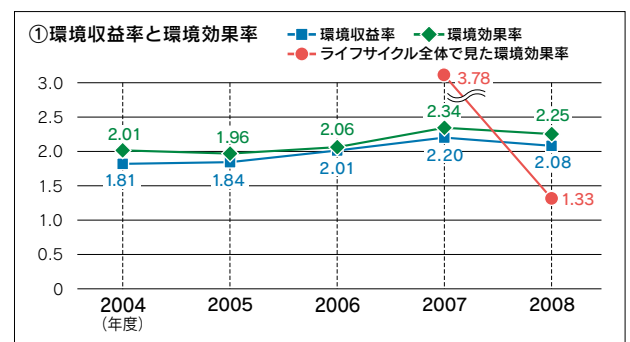
※ 業績に関する詳細は、「リコーグループIR・財務情報」ホームページをご覧ください。
(<http://www.ricoh.co.jp/IR/>)

統合環境影響の推移（先進国向け事業）*



* プロダクション・プリンティング事業を除いています。

リコーグループの環境経営指標の推移



環境会計のレビュー

環境会計は、環境保全活動にかかった費用とそれにより得られた効果を対比するものです。

環境会計で示しているコストや経済効果は、リコーグループの環境負荷だけでなく、ライフサイクル全体の環境負荷削減につながるような活動の結果であることから、環境保全効果や環境負荷についても、リコーグループだけでなく、事業活動の上流・下流を含めたライフサイクル全体の環境負荷を示すことで、環境保全活動にかかったコストや経済効果とライフサイクル全体で見た環境保全効果・環境負荷を対比できるようにしています。

まずリコーグループ全体の傾向を見ると、国内外の景気の悪化や円高などの影響を受け、売上総利益と環境負荷総量の比である「環境負荷利益指数」は2007年度に比べ低下しました（グラフ②参照）。

また環境保全活動の費用対効果の効率を示す「環境収益率」や、社会コスト削減額を考慮した「環境効果率」も、国内

外での景気変動の影響等により、経済効果が減少したことから、2007年度に比べやや低下しました（グラフ①参照）。

2008年度のコーポレート環境会計*のコストを項目別に見ると、2007年度に比べて、リサイクルに関わる上下流コストの環境費用が減少した一方で、製品環境性能向上などの将来の環境負荷削減に向けた研究・開発に関わる環境投資と環境費用が増加しました。

経済効果については、世界的な不況の影響による生産量の減少やリサイクル製品の販売減により、やや減少しました。今後はリコーグループ内だけでなく、ライフサイクル全体の省エネルギー・省資源・汚染予防に取り組み、より一層の環境負荷低減と効率化を図り、環境経営の実現に向けた取り組みを進めていきます。 [*：61ページ](#)

リコーグループの環境経営指標(2008年度)	結 果	算出式
環境収益率 (REP: Ratio of Eco Profit)	2.08	経済効果総額(358.2)/環境保全コスト総額(172.6)
環境効果率 (REE: Ratio of Eco Effect)	2.25	{経済効果総額(358.2) + 社会コスト削減額(3.0+26.0)} / 環境保全コスト総額(172.6)
環境負荷利益指数 (Eco Index)	2,484.8	売上総利益(8,543) / 環境負荷総量(343,806) × 10 ⁵
社会コスト利益率 (RPS: Ratio of Profit to Social cost)	160.1	売上総利益(8,543) / 社会コスト総額(53.4)

※ 金額単位は(億円)。

ライフサイクル全体で見た環境経営指標(2008年度)	結 果	算出式
環境収益率 (REP: Ratio of Eco Profit)	2.08	経済効果総額(358.2)/環境保全コスト総額(172.6)
環境効果率 (REE: Ratio of Eco Effect)	1.33	{経済効果総額(358.2) + 社会コスト削減額(-153.7+26.0)} / 環境保全コスト総額(172.6)
環境負荷利益指数 (Eco Index)	44.1	売上総利益(8,543) / 環境負荷総量(19,380,325) × 10 ⁵
社会コスト利益率 (RPS: Ratio of Profit to Social cost)	2.8	売上総利益(8,543) / 社会コスト総額(3,008.6)

※ 金額単位は(億円)。

※ 新たな環境行動計画の開始にともない、適用する原材料製造、燃料利用などの原単位を2008年度から更新しました。また、新たな知見に基づき、評価方法の変更を行いました。これらに合わせて、左ページのグラフ中の過年度の数値をさかのぼって修正しています。